

湧別小学校では、今年度から読書活動の充実に力を入れています。子ども達にしっかりとした言葉の力をつけ、学んだことを生かして学習に取り組んでほしいという思いからです。

そのために、今年度から以下のように学校の読書環境を整えました。

- ①朝読書の実施(毎週月曜～水曜、3年生以下水曜は読み聞かせ)
- ②図書スペースの新設(高学年の子ども達に本を手にとってもらいやすい環境づくり)
- ③湧別町図書館との連携(各教科の教科書の学習内容に合わせて、必要な本を学級に設置)

また、学校だけではなく、家庭とも連携し「家読」を推奨することで、本を楽しむ時間が増えれば、さらに子ども達に言葉の力がつくのでは?と考えています。

先日、町の図書館からも、「家読おすすめ絵本10」というチラシが配布されたのをご覧になりましたか? 図書館からご家庭で読んでほしい本をリストアップしてありました。毎日、読書の時間を作るのは、大変だと思いますが、下の資料(「家庭で楽しく!子どもの読解力がぐんぐん伸びる本」ベネッセ より抜粋)も参考に頂き、ぜひ家読を楽しんで頂ければと思います。

今すぐできるカンタン! 読書のポイント



読んだ本でコミュニケーション

低学年・中学年のお子さまなら読み聞かせを行い、高学年なら親子で同じ本を読みます。読んだあと、本の内容をもとに親子で楽しく話しましょう。読解力と親子のコミュニケーションが豊かになります。

※コミュニケーション例は21ページ参照

親子で本をチョイス!

一緒に書店や図書館に行ってみましょう。子どもが読みたい本とおうちのかたが与えたい本の接点を探していきます。子どもが好きな本を1冊、おうちのかたが読ませたい本を1冊選ぶのもよいでしょう。

読書に適した環境づくり

目につく所に本を置くなどして、読書に適した環境をつくりましょう。また、おうちのかたも読書の習慣をつけることが大切。「本を読みなさい」と言うだけでは説得力がなく、子どもは本好きにはなりません。

豊かな読書環境は
ちよつとした心がけから

家庭で子どもの読解力を伸ばすために大切なこと、それは、子どもが読書しやすい環境を整えることです。また、「本を読みなさい」と強制しないことも重要なポイントです。無理に読書を押しつけられると、子どもは本嫌いになってしまいます。なにげなく家の中に常に本があり、大人も時々読んでいます。すつと本を手にとり、自然に読書ができる雰囲気づくりが大切です。

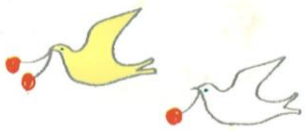
また、分厚い本を読むことが読書ではありません。最近ではインターネットやゲームソフトでもさまざまな読み物があります。マンガの中にも優れた学習マンガもあります。おうちのかたご自身が日常的に本や新聞などのメディアで文字に親しむことで、子どもも自然に読書が好きになるものです。

どんな本を選べばいいのかわからない場合は、店頭で平積みされている本を目安にしてみてください。また小学校などで実施されている読み聞かせボランティアに参加すると、本に詳しい保護者仲間がで、情報を得られます。

そして、ぜひトライしていただきたいのが、読んだ本を題材に親子でコミュニケーションすること。このとき注意したいのが、一つの意見を押しつけたり、子どもの意見を否定しないこと。多様性を認め、お互いを理解し合うことが大切です。あくまでも楽しく、無理強いない。子どもが嫌がるようなら、また明日やればよい。おうちのかたがゆつたりと構えることが重要です。



裏には、「読む力
パワーアップ
ミニクイズ」を
載せてあります!
親子でぜひ、
チャレンジして
みてください!



パワーUP ミニクイズ

普段、お子さまは文章を正しく読み取れていますか？
大人も一瞬考えてしまうこのクイズ。ぜひ親子で楽しくチャレンジしてみてください。

Q.3 ヒントをたよりに、どの人物か選ぼう！

もんだい 「ほくし」はどれかな？

〈ヒント〉
ほくはいちばん左の列にいないよ。
前にも後ろにも人がいるよ。
いちばん右の列にはいないよ。

Q.2 正しいものには「○」、まちがっているものは「×」、これだけでは分からないものは「？」を選ぼう！

ほくたちは、レストランでそれぞれ食べたいものを一つ注文した。弟はオムライスを注文した。ほくは、母とは違うものを注文した。オムライスが二つ運ばれてきて、一つをほくが食べた。

もんだい 弟はほくと同じものを注文した。

○ × ?

Q.1 正しいものを選ぼう！

ももが本を買った。「読み終わったら貸してね」とあやが言った。あやが来るまえに、なおとじろうが借りに来た。じゃんけんで勝ったなおとが借りていった。

もんだい 今、本を持っている人は？

なおと もも あや じろう

裏表紙のクイズの答え・解説

1 なおと
 誰が何をしたのか、場面を思い浮かべながら読み取ろう。「何を(本を)」が省略されているところは補って読んでいこう。
 2 ○
 「弟はオムライスを注文した」「オムライスが二つ運ばれてきて、一つをほくが食べた」から、弟とほくは同じものを注文していることになる。
 3
 条件にあちこのを見つけたときは、順序よく考え、右図のように印をつけて整理すると効率的。
 ①ほくはいちばん左の列にいないよ。
 ②前にも後ろにも人がいるよ。
 ③いちばん右の列にはいないよ。

こたえはこちら

